

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第2週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は1,269人（定点あたり32.7）で、前週比173%と増加した。この増加は、前の週が年末年始で報告が少なかったためである。

インフルエンザの報告数は333人（5.6）で、高千穂保健所管内を除く全ての地域で報告された。高鍋（10.8）、宮崎市（7.2）、延岡（6.4）保健所からの報告が多かった。年齢別では5歳以下が35%、6歳から9歳が27%、10歳から14歳が14%、15歳から19歳が2%、20歳以上が22%を占めた。

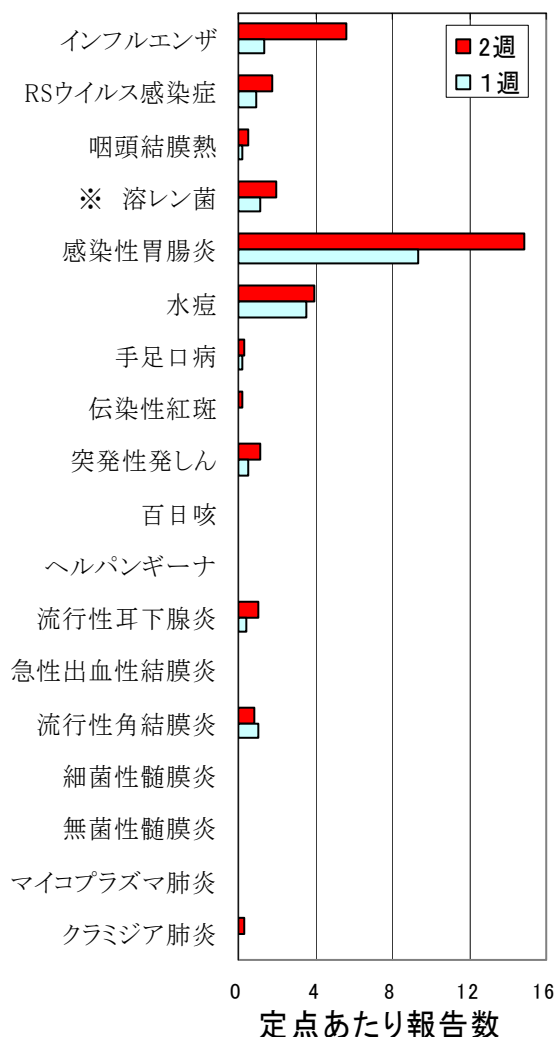
感染性胃腸炎の報告数は533人（14.8）で小林（26.0）、日南（25.3）、都城（22.2）保健所からの報告が多く、流行警報開始基準値を超えている。年齢別では1歳から4歳で全体の約4割を占めた。

水痘の報告数は141人（3.9）で、延岡（8.0）、宮崎市（5.7）保健所からの報告が多く、延岡保健所管内では流行警報開始基準値を超えている。年齢別では1歳が最も多く全体の約4割、1歳から3歳で約7割を占めた。

その他、マイコプラズマ肺炎1人が延岡保健所から報告された。患者は12歳の男子で、原因菌はMYCOPLASMA PNEUMONIEであった。

クラミジア肺炎2人が小林保健所から報告された。患者は60歳代と80歳代の女性であった。

〈前週との比較〉



※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

□ 流行警報開始基準値を超えた疾患

	流行警報 開始基準値	保健所及び定点あたり報告数	年 齢 分 布
咽頭結膜熱	2	日南(2.3)	2歳から5歳と7歳で全体の約9割を占めた。
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	4	延岡(4.3)	4歳から6歳で全体の約半数を占めた。
感染性胃腸炎	20	小林(26.0)、日南(25.3)、都城(22.2)	1歳から4歳で全体の約4割を占めた。
水痘	7	延岡(8.0)	1歳が最も多く全体の約4割、1歳から3歳で約7割を占めた。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 3 例が宮崎市（2 例）、都城（1 例）保健所から報告された。
《宮崎市保健所》・40 歳代の男性で肺結核。
・90 歳代の女性でその他の結核（結核性胸膜炎）。発熱、胸痛がみられた。
《都城保健所》70 歳代の男性で肺結核。咳がみられた。
- 3 類感染症： ○細菌性赤痢 1 例が日向保健所から報告された。60 歳代の男性で発熱、下痢がみられた。海外での生野菜・果物の摂取歴有り。
○腸管出血性大腸菌感染症 1 例が宮崎市保健所から報告された。30 歳代の男性で無症状病原体保有者。原因菌の血清型は O157（VT2 産生）。
- 4 類感染症： つつが虫病 4 例が日南保健所から報告された。
・50 歳代の男性で頭痛、発熱、刺し口、発疹がみられた。
・50 歳代の男性で頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹がみられた。
・60 歳代の女性で刺し口、発疹、全身倦怠感がみられた。
・40 歳代の男性で発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹がみられた。
- 5 類感染症： ウイルス性肝炎（B 型）1 例が都城保健所から報告された。10 歳代後半の男性で、肝機能異常、黄疸がみられた。

■ 病原体情報（衛生環境研究所 微生物部）

□ 細菌

報告なし。

□ ウイルス（平成 20 年 1 月 15 日までに分離同定）

同定ウイルス名	年齢	性	採取日	臨床診断名	材料	分離・検出日
インフルエンザ A H1 型	1	男	11.30	インフルエンザ A、39.2℃、上気道炎	鼻汁	1.07
インフルエンザ A H1 型	25	女	12.07	インフルエンザ A、37℃、上気道炎	鼻汁	1.07
ノロウイルス G II 型	7 ヶ月	男	12.05	難治性下痢症、嘔吐	便	12.27
ノロウイルス G II 型	1	女	12.26	けいれん、胃腸炎、嘔吐	便	12.31
エコーウイルス 30 型	7	男	12.01	無菌性髄膜炎、胃腸炎、38.5℃	髄液	12.28

インフルエンザを発症した患者 2 名（宮崎市保健所管内）からインフルエンザ A H1（A ソ連型）が検出された。国立感染症研究所感染症情報センターの病原微生物検出情報によると、2007/08 シーズンに入り、A（H1）型が 770 例、A（H3）型が 66 例、B 型が 15 例分離・検出されている。過去 5 シーズンの中で、A H1 亜型（A ソ連型）の検出数の多いのが本シーズンの特徴である。なお、今回分離された 2 株は、本シーズンのワクチン株と若干抗原性に差がみられたため、今後の発生動向に注意が必要である。

感染性胃腸炎を呈した乳幼児 2 名（宮崎市保健所管内）からノロウイルス G II が検出された。これは、この時期の乳幼児や高齢者に多くみられる感染性胃腸炎の主要な原因ウイルスであり、二次感染拡大防止に注意したい。

その他、無菌性髄膜炎を発症した患者（中央保健所管内）からエコーウイルス 30 型が検出された。

■ 全国第 1 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 13.0 で、前週比 47%と減少した。この減少は、年末年始等で定点医療機関が休診だったためと思われる。

インフルエンザの報告数は 14,574 人 (3.2) で、青森県 (7.8) 、香川県 (7.7) 、岩手県 (7.6) からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 31%、6 歳から 9 歳が 13%、10 歳から 14 歳が 6%、15 歳から 19 歳が 4%、20 歳以上が 46%を占めた。

□全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし
- 2 類感染症 : 結核 62 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 5 例、腸管出血性大腸菌感染症 2 例
- 4 類感染症 : つつが虫病 4 例、デング熱 2 例、レジオネラ症 4 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 1 例、ウイルス性肝炎 2 例、後天性免疫不全症候群 2 例、梅毒 2 例、破傷風 1 例、麻しん 34 例

宮崎県 感染症情報（72定点医療機関）

2008年 第02週(01月07日～01月13日)

疾病名		第1週	第2週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	76	333	108	21	45	23	27	65		28	16
	定点あたり	1.31	5.64	7.20	2.10	6.43	4.60	5.40	10.83	0.00	4.67	5.33
RSウイルス 感染症	報告数	33	63	13	14	13		2	12	3	6	
	定点あたり	0.94	1.75	1.44	2.33	3.25	0.00	0.67	3.00	3.00	1.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	6	17	5	2	1	7		1		1	
	定点あたり	0.17	0.47	0.56	0.33	0.25	2.33	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	40	72	10	13	17	9	6	13		1	3
	定点あたり	1.14	2.00	1.11	2.17	4.25	3.00	2.00	3.25	0.00	0.25	1.50
感染性胃腸炎	報告数	329	533	76	133	39	76	78	57	19	48	7
	定点あたり	9.40	14.81	8.44	22.17	9.75	25.33	26.00	14.25	19.00	12.00	3.50
水 痘	報告数	124	141	51	15	32	5	10	9	3	11	5
	定点あたり	3.54	3.92	5.67	2.50	8.00	1.67	3.33	2.25	3.00	2.75	2.50
手足口病	報告数	6	13	2	3	1			6		1	
	定点あたり	0.17	0.36	0.22	0.50	0.25	0.00	0.00	1.50	0.00	0.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	4	7	1	1		3		2			
	定点あたり	0.11	0.19	0.11	0.17	0.00	1.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	19	42	5	10	5	11	6	4		1	
	定点あたり	0.54	1.17	0.56	1.67	1.25	3.67	2.00	1.00	0.00	0.25	0.00
百 日 咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	2	1	1							
	定点あたり	0.03	0.06	0.11	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	15	38	7	9	1	10	4	5		1	1
	定点あたり	0.43	1.06	0.78	1.50	0.25	3.33	1.33	1.25	0.00	0.25	0.50
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	6	5	5								
	定点あたり	1.00	0.83	1.67	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1			1						
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数		2					2				
	定点あたり	0.00	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00		0.00	

上段: 報告数
下段: 定点当り報告数

* 定点報告の風しん、麻しん及び成人麻しんは、2008年第1週より全数把握対象疾患に変更になりました。

インフルエンザ定点: 59、小児科定点: 36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点: 6、基幹定点: 7

●全数把握対象疾患報告累計(2008年第1週～第2週) (数値は報告数)

2類感染症	結 核	4 例		
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	2 例
4類感染症	つつが虫病	4 例		
5類感染症	ウイルス性肝炎	1 例		